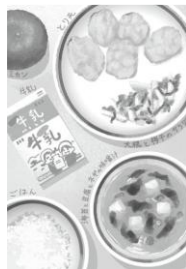


『食堂のおばちゃん』『婚活食堂』『ゆうれい居酒屋』3シリーズ130万部突破 松本清張賞 受賞作家・山口恵以子 初の児童書待望の第二弾発売！！

株式会社理論社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田崎勝也)は
『給食のおばちゃん 異国の友』(作:山口恵以子 絵:彩田花道)を2026年7月21日(火)より発売いたしました。



「給食のおばちゃん」シリーズは、読者の支持をいただき、累計130万部を突破しました。このシリーズは、食文化の交流と、異文化理解をテーマにした作品です。今回、異国の友というテーマで、異文化の食文化と、食文化の交流をテーマにした作品です。

／今回の舞台／

広島県 福島県
東京都
佐賀県 石川県

作/山口恵以子 絵/彩田花道
本体1,320円(税込)
ISBN978-4-652-20789-5
四六判並製 160ページ

【内容】

伝説の管理栄養士として知られる屋間明子が活躍する<食>と<心>のストーリー第2弾。第一話は広島県。今日のメニューは、広島風お好み焼き。でも、クラスにはインドネシア出身の男子がいる。イスラム教徒なので豚肉が食べられない。そこで、おばちゃんはハラルの給食を出したいと考えた。「給食」をきっかけに、子どもたちは異国の食事や文化に接していく。第二話は「スリムになりたい」と糖質制限ダイエットを決意する女子。第三話はスポーツと学習塾のあいだで揺れる男子。おばちゃんは、問題をかかえる子どもたちと向き合っていく。

<おなか>も<心>も満たされる、今こどもたちに読んでほしい人情ストーリー待望の最新刊。

給食は地元の有名食材を使用した献立になっており、名物料理等に関する内容も盛りだくさんで食育的内容満載！もちろん舞台となる県だけでなく、どの地域にお住まいの方でも楽しく読めるシリーズです。

続刊は2027年1月刊行予定！！

【編集者コメント】

今回も<給食のおばちゃん>は、全校各地の小学校をめぐり、ご当地ならではの美味しい給食をつくりながら、子どもたちの問題に向き合っていきます。

山口恵以子

1958年、東京都江戸川区生まれ。早稲田大学文学部卒業。

会社勤めをしながら松竹シナリオ研究所で学び、脚本家を目指し、プロットライターとして活動。その後、丸の内新聞事業協同組合の社員食堂に勤務しながら、小説の執筆に取り組む。2007年『邪剣始末』で作家デビュー。2013年『月下上海』で第20回松本清張賞を受賞。社員食堂勤務をしながら執筆したことから「食堂のおばちゃん」が受賞した」と話題になった。その他の著書に『食堂のおばちゃん』『婚活食堂』『ゆうれい居酒屋』の「食と酒と人情」の3シリーズや、『工場のおばちゃん、あしたの朝子』『恋形見』『毒母ですが、なにか』『夜の塩』『ライト・スタッフ』『バナナケーキの幸福』『いつでも母と』『見てはいけない』、共著に『猿と猿回し』『超実践！60歳から小説家になる』などがある。



撮影：山崎真由子